

教育プログラム・コースの概要

大学名等	東京医科歯科大学大学院						
教育プログラム・コース名	緩和ケア医療者養成コース（インテンシブ）						
対象者	医師、歯科医師、看護師、薬剤師、遺伝カウンセラー等						
修業年限（期間）	最大1年						
養成すべき人材像	<p>①がん診療の一環としての緩和ケア（非がん疾患の緩和ケアとの比較も含めて）を理解し、最新のがん診療における知見を踏まえた緩和ケアを実践できる医療者・人材</p> <p>②様々な年齢（小児、AYA世代、高齢者など）、場面（在宅、緩和ケア病棟、外来、就労など）における緩和ケアについて理解し、必要な連携体制を構築できる医療者・人材</p> <p>③診療科横断的な部門の構成員として、がん診療を俯瞰しマネジメントを行うことができる医療者・人材</p>						
修了要件・履修方法	所定の講義科目6単位の履修（実習科目の選択も可能）						
履修科目等	発展、化学療法、放射線基礎、緩和基礎、緩和応用の5種別より6単位を選択						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<p>本学医学部附属病院にはこの4月に15床の緩和ケア病棟を開設した。これは全国の大学病院本院では7番目であり、東京都の13大学医学部本院の中では唯一のものである。緩和ケアの診療・教育・研究体制は2名の教員（暫定指導医および専門医）と1名の医員で行っている。卒前教育としても、3年次のブロック講義で3コマ、4年次のプロジェクトセメスターで2名6ヶ月、6年次の臨床実習で必修科目として全員に2週間のローテーション（1週は学内、1週は学外の緩和ケア病棟）を行っている。また東京都緩和ケア病棟懇話会を主催し、都内の緩和ケア病棟の連携コーディネート、近隣県の緩和ケア病棟との連携構築も積極的に推進し、緩和ケア病棟、チーム、外来における教育体制を整備している。これら豊富なフィールドを利用して、コースワークも含めたインテンシブコースを開設し、幅広く多職種を受講を促す。</p>						
指導体制	臨床腫瘍学分野教員、保健衛生学科教員を中心に、体制を整備する。教育のフィールドとしては、本学医学部附属病院の緩和ケア病棟を中心に連携施設との協力体制を構築する。同時に、連携大学間の交換講義、遠隔講義、施設見学実習等も有効に活用できる体制を整備する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	<ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケアに従事する医療者 ・臨床心理士 ・ソーシャルワーカー、事務職など 						
受入開始時期	平成29年6月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	インテンシブ	0	3	3	3	3	12
	計	0	3	3	3	3	12